



徳島県立中央病院 患者支援センター  
770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3  
<http://www.tph.gr.jp/>

電話 088(631)7151  
FAX 0120(631)715  
mail: [chiiki@tph.gr.jp](mailto:chiiki@tph.gr.jp)

## 公立病院在任7年間の改善・改革

—地域医療連携事業講演会要旨—

山口県立総合医療センター 前院長 前川剛志

2011年(平成23年)4月1日から2018年3月末まで地方独立行政法人山口県立病院機構の理事長・総合医療センターの院長として勤務いたしました。そこで、山口県立総合医療センター院長の7年間の総括いたしました。

赴任当時の知事、二井関成氏からのミッションは二つ、職員の意識改革と業務の見える化でしたが、どれも出来そうにないものでした。どこの公立病院も、定員削減により重要な業務さえ外注され、医療職員と事務職員の思考・価値観のずれが顕著でした。

まず、職員の気持ちを把握すべく、徒歩3分の院長宿舎に居を構えました。また、事務職7名、副院長2名、内科系・外科系診療部長2名に現状と本音を聞きましたが、結果として少し意思疎通が良くなった程度でした。また、看護師長会議に毎月出席して、「提案型の病院にしたい」と伝えましたが、3か月間は一人も意見を言われぬ状況でした。

その後、機構の事務局長、人事・総務担当トップと共に、厚労省・政府の考え方や動向、DPCの背景、次期診療報酬改定動向等に関して、東京を始め可能な限り出向いてこれらの情報を収集しました。また、産業医大の松田教授、東北大学の藤森教授、元中医協委員等も病院に招き、コンサルもいれて、職員全員に病院の現状や医療の方向性を把握して貰いつつ、常に5年~10年先の病院像を考えて改善・改革を進めました。毎年、必ず労使交渉に出席しつつも、院内では年功序列から能力重視に切り替え、また独法化の利点を生かして院外の有能な人材を雇用しました。

山口県立総合医療センターにおける改善・改革は以下の通りで、病床、人数等は2018年4月現在の数です。

1. 施設・設備：①電子カルテ導入(2012年度)．②がん化学療法室新設(14床)．③総合周産期母子医療センター増床(30床)．④救命救急センターHCU(6床)新設．⑤集中治療室増床(12床)．⑥中央手術室増室(含ハイブリッドOP室、9室)．⑦職員寮(ワンルームマンション化、研修医用：30室、看護師用：30室)．
2. 体制：①7対1看護体制(2011年度)．②看護師・看護助手業務量調査(電子カルテ上で入力、年度比較で業務改善顕著)．③医師事務作業補助者育成(医師働き方改革、毎月研修会、40人)．④薬剤部(院外処方、全病棟薬剤師配置、29人)．⑤臨床検査部(心エコー等の生理機能検査強化)⑥MEセンター独立(院内当直、技士12名)．⑦リハ科独立(365日リハ、専門医2人、技師30人)．⑧地域医療連携室(前方・後方支援、14人)．⑨入退院支援センター新設(プロジェクト、外来で入院決定時に患者基本情報取得・電カルにパターン化入力、入院時の病棟看護師業務量軽減・均てん化、10人)．⑩保育園(施設改修、運営外注、病児・病後児保育、24時間保育、ネット環境幼児英会話・ダンス教室)．⑪研究・研修体制(医師・医療職全員の研修費1.5倍)．⑫賠償保険(医療職全員加入：安心して働ける環境、医師は2億円補償に、顧問弁護士契約)．⑬情報統括管理室新設(電カル内容の活用など、5人)．⑭診療情報管理室新設(10人)．
3. プロジェクト・治験等：①外来待ち時間5分間(医事計算~支払い)プロジェクト．②外来改革プロジェクト(外来患者予約診療60分前採血・結果出し、入院患者早朝検体検査・結果出し：外来・OP・検査対応医師の朝いちオーダー入力義務化⇒病棟看護業務の前倒し・均てん化)．③SPDシステム導入・稼働(不良在庫ゼロ作戦、プロポーザル・外注、カート方式)．④再生医療治験(AMED)参加．⑤先進医療治験(HYBRID II)参加．
4. 評価：①病院機能評価認定更新(2013年度)．②臨床検査部(ISO認定更新)．③厚生労働省の特定共同指導(2017年9月)．

まだまだ改善・改革途上ですが、職員の意識改革と業務の見える化はできつつあります。但し、手を緩めると容易に元に戻ります。



平成31年1月17日 当院にて、前川先生にご講演いただきました。

## E-ナース院内研修のお知らせ



### ① 『患者の声にならない訴えを見る～急変回避のためのアセスメント～』

講師：杏林大学医学部付属病院 看護部長 道又 元裕氏

日時：平成31年3月6日（水）17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

### ② 『新人看護師の心のケア』

講師：杏林大学大学院保健学研究科／杏林学園三鷹保健センター 精神看護専門看護師 川名 典子氏

日時：平成31年3月20日（水）17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

\*院外の方も参加可能です。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 患者支援センター 有馬

## 看護局 専門分野研修会のお知らせ

### ① 『せん妄について』

担当：精神科看護認定看護師 苛原英義

日時：平成31年2月22日（金）17:30～18:30

場所：当院3階 講堂

### ② 『がん治療と看護（放射線療法・分子標的薬）』

担当：がん放射線療法看護認定看護師 原裕美子／外来副看護師長 川端泰枝

日時：平成31年3月14日（木）18:00～19:00

場所：当院3階 講堂

\*院外の方も参加可能です。事前申込みは必要ありません。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 看護局教育担当 佐藤

## がん相談支援センターのご紹介

当院のがん相談支援センター（患者支援センター内）では、がんに関する悩み事や不安について、専門の相談員が相談支援を行っております。

院内外問わず、地域の医療機関の皆様からのご相談もお受けしております。

お気軽にご連絡ください。

以下のようなご相談に対応しております。

- ・がんの治療に関する一般的な情報が知りたい
- ・セカンドオピニオンを受けたい
- ・緩和ケアについて知りたい
- ・アピアランスケアを受けたい・知りたい
- ・他のがん患者さんと話をしてみたい
- ・がん治療をしながら、仕事を続けていけるか不安 など



窓口：当院1階 総合案内 がん相談支援センター（患者支援センター）

TEL：088-631-7151（内線：5225）



徳島県立中央病院

TOKUSHIMA PREFECTURAL  
CENTRAL HOSPITAL

### 《報告》

皆様のおかげをもちまして、  
平成30年12月は、地域医療支援病院

紹介率 83.6% 逆紹介率 200.0% でした。

今後も地域医療連携推進に努めます。何卒よろしくお願い申し上げます。